

成績評価および分布状況

[成績評価]

- ① 成績評価は原則として、年2回の期末に科目毎の評価を行う。
 (注) 同一名称であっても、末尾にⅠ・Ⅱ等の記号の付されているものは、それぞれ別科目として扱う。
- ② 成績評価はシラバスに記載された基準に従い、期末試験・出席率・確認テスト・課題・レポート・検定取得状況・授業態度等を参考に総合的に評価する。
- ③ 評価基準はA、B、C、Dの4段階とし、A～Cを合格とする。
 A＝科目に対する理解及び日常の学習状況が優秀な者。
 (成績評価が80点以上)
 B＝科目に対する理解及び日常の学習状況が良好な者。
 (成績評価が70点以上79点以下)
 C＝科目に対する理解及び日常の学習状況がやや劣る者。
 (成績評価が60点以上69点以下)
 D＝科目に対する理解及び日常の学習状況が著しく劣る者。
 (科目評価が60点未満)
- ④ 再試験
 - a. D評価の者は再試験を行い、学習の機会を与える
 - b. 再試験後の評価はC以下とする。
 - c. 再試験の実施は1度のみとする。
- ⑤ 成績表
 各期末に成績評価、出席状況及び検定取得状況を記載した成績表を作成し、保護者(保証人)に郵送する。

[成績評価に係る指標の算定方法および分布状況]

学科ごとに成績分布状況を把握するため、半期終了時点で履修した全ての科目についてシラバスに記載されている評価基準に基づき点数化(100点満点)し、合計した上でその平均点を算出する。

(例) 成績分布表

学科名	○○○○○○○学科	学年	○年	学生数	○○名	
成績の分布						
指標の数値	～49点	50～59点	60～69点	70～79点	80～89点	90～100点
人数						
下位1/4に該当する人数 ○人						
下位1/4に該当する指標の数値 ○○点以下						